

こんにちは三津田店の瀧口です。カープはセリーグ2連覇となるV8を達成しました。これからCS・日本シリーズの行方が気になるところでしょうが、ドラフト会議に注目しています。今年はどうな選手が入団するのか今から楽しみです。

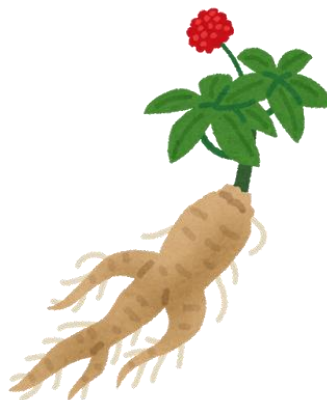


続・高麗人参(紅参)七効説

前回マリン通信7月号で高麗人参の代表的な効果である人参七効説の①～③までについて説明させていただきましたが、今回はその続き④～⑦を説明させていただきます。前回の人参の治療効果を説明させていただきます。

再度、人参七効説明とは以下のとおりです

- ①托毒合瘡（たくとくがっそう）
- ②健脾止瀉（けんぴししゃ）
- ③補気救脱（ほききゅうだつ）
- ④生津止渴（せいしんしかつ）
- ⑤益血復脈（えっけつふくみゃく）
- ⑥養心安神（ようじんあんしん）
- ⑦補肺定喘（ほはいていぜん）



④生津止渴とは

体液を生じさせ身体の渇きを抑え、水分を保持させる効果です。皮膚の保湿、糖尿病改善に役立つと言われています。冬場に肌が乾燥して痒みが出る方の治療として

効果を発揮します。また、糖尿病という病名すら無かったころから中国では治療薬として紅参が使われていました。

⑤益血復脈とは

血液を作り脈の力を回復させる効果です。低血圧や貧血の改善や、毎年冬になると指先が割れるといった方は血行が悪いことが原因なので、その改善として期待できます。

⑥養心安神とは

自律神経のバランスを整え、精神的な安定を導きます。ストレスの緩和や不眠に効果があります。自律神経のバランスが崩れると身体の不調だけでなく、免疫力が低下して風邪など感染症に対して弱くなってしまいます。

⑦補肺定喘とは

肺の健康を促進する効果です。これからの時期、風邪で咳が止まらない、風邪は治ったのに咳だけ残っているという方は風邪薬と併用すると効果的です。

以上が人参七効説の説明です。今回お話しした④～⑦は冬場に役立つ効果なので、気になった方は店頭で是非ご相談下さい。